

切花菊 育て方

育て方の動画はこちら

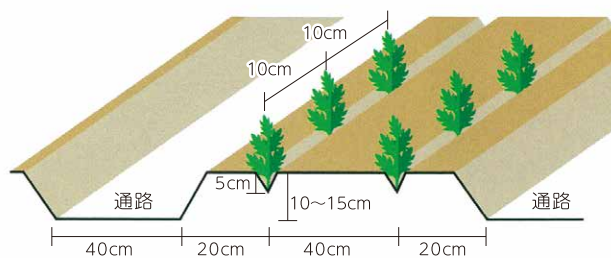


種類	作業時期	定植	摘芯
夏秋菊	7月咲き	3月	4月
	8月咲き	4月	5月
	9月咲き	5月	6月

種類	作業時期	定植	摘芯
秋菊	10~11月咲き	6~7月	7~8月
寒菊	12月咲き	7月	8月

① 定植

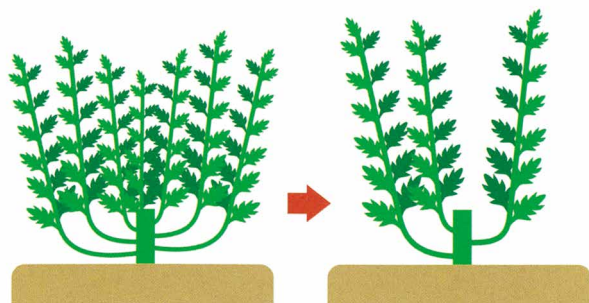
日当たりが良く、排水の良い場所へ堆肥と共に油粕・有機質肥料をすき込んでください。定植場所は毎年変えるのが理想的です。定植後は忘れずに十分灌水しましょう。



③ 整枝

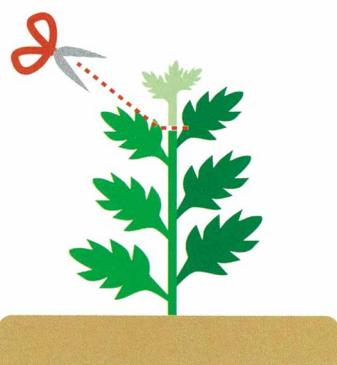
摘芯して30日ほどすると各節から側芽が発生し、10cm以上の側枝に生長します。立派な花を咲かせるためには、大輪咲きは3~4本、小菊は5~6本立ちになるように側枝の整理をします。それぞれの芽がよく揃ったものを残し、太すぎ生育のよすぎるものや細く短いものは、節の元からもぎとってやります。

揃った丈夫な芽を3~4本残す



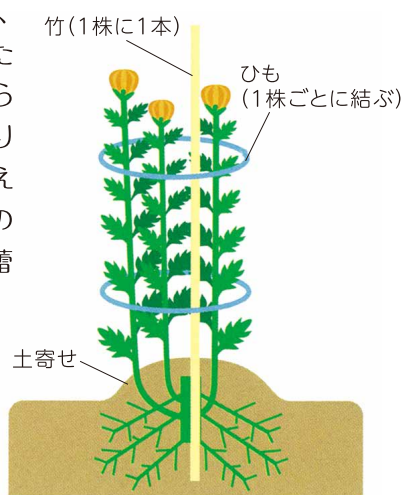
② 摘芯

定植後10日程して根づいたら、下葉を5~6枚残して先端部を摘みとります。定植時期が早い場合、長く伸びてしまうため、開花の3ヶ月前に2度目の摘芯を行います。



④ 開花

開花に向けて茎が伸びてきますので、支柱などを一株ごとに立て、倒れないように支えてやります。この時期に株元へ土を寄せて盛り上げてやります。輪菊の場合のみ、下から伸びてきた脇芽を大きくないうちに摘み取ります。また蕾が見えてきたら、中心の蕾を残して他の蕾は摘み取ります。



大菊 育て方

① 鉢替え・整枝

鉢上げ後1ヶ月して、鉢に根が回ったら9号鉢に植替えます。また、芽の整理を行います。脇芽を4本(均一に伸びた3本と予備の1本)残し、後は取り除きます。



② 支柱立て

脇芽が約20cmになったら、支柱を立てて誘引します。

ポイント 支柱は三枝の向きに合わせて立て鉢の底までしっかり差し込みます。



③ 摘蕾

9月上旬頃より蕾が見え始めます。芯蕾を残して、脇蕾を摘みましょ。

ポイント 念のため、予備の蕾をひとつ残しておき、様子を見てから取り除きましょう。



④ 輪台付け・開花

厚物咲は外弁が2~3枚自然に垂れ下がってくる頃に4寸輪台を、管物は弁が均一に伸びてくる7分咲きの頃に5~6寸輪台を付けます。

ポイント 開花期の灌水は十分行い、開花後は控えめにした方が花を長く楽しむことができます。



クッションボール 育て方

育て方の動画はこちら



① 植付け時期

定植は6月中旬~下旬が適期です。早く植えると大きな株になります。ただし、降雨や風、花の重みで形が崩れることがあるのでご注意ください。

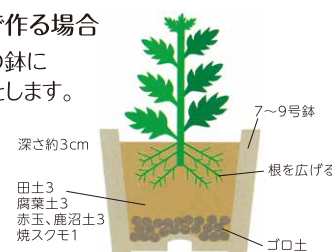
② 植付け場所

日当たりが良く、排水の良い場所を好みます。堆肥と共に、油粕・有機質肥料をすき込んでください。鉢植えの場合、堆肥を十分に入れ、排水の良いものを準備します。

③ 植付け

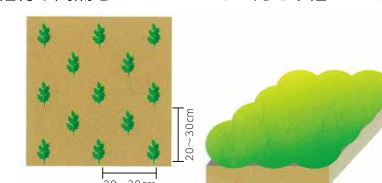
A. 鉢で作る場合

7~9号の鉢に1本植えとします。



B. ジュータン状に作る場合

植付け間隔を20cm~30cmとし、ちどりに植えます。



C. ウェーブ状に作る場合

ジュータン状に準じますが、植付け間隔を少し広めの50cmくらいにします。



④ 管理法

植付け後は、芯を摘まなくても自然と芯が止まって枝が増えます。放任栽培でも株が広がって大きくなっていき、10月中旬から11月中旬にかけて沢山の花数をつけて開花します。何度か摘芯し整えられると、より形良く仕上げる事ができます。